

平成29年度

第2回駒ヶ根市総合教育会議

議 事 録

駒ヶ根市教育委員会

## 平成29年度第2回駒ヶ根市総合教育会議議事日程

平成29年7月31日（月曜日）

駒ヶ根市役所本庁舎2階大会議室

午後1時00分 開会

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 3カ年実施計画（平成30年度～平成32年度）について

(2) その他

4 意見交換

5 その他

次回教育総合会議 開催予定：平成29年11月（平成29年度第3回）

6 閉会

## 出席者

### 教育委員会

教 育 委 員 長	北 原 美 香
教育委員長職務代理	下 島 公 平
教 育 委 員	福 澤 惣 一
教 育 委 員	唐 澤 浩
教 育 長	小 木 曾 伸 一

### 市長部局

市 長	杉 本 幸 治
総 務 部 長	萩 原 浩 一

### 市長部局事務局職員

教 育 次 長	小 平 操
子 ど も 課 長	北 澤 英 二
保 健 セ ン タ ー 所 長	中 坪 美 智 子
学 校 教 育 係 長	久 保 田 浩 人
教 育 総 務 係 長	山 本 和 重
教 育 総 務 係	小 松 義 知

## 会議のてんまつ

### 議事日程記載のとおり

午後1時00分 開会

○小平教育次長 ただいまから平成29年度第2回駒ヶ根市総合教育会議を始めさせていただきますと思います。本日の進行を務めさせていただきます教育次長の小平です。どうぞよろしくお願いをいたします。それでは、最初に杉本市長よりごあいさつをお願いします。

○杉本市長 改めまして、こんにちは。

きょうは、第2回駒ヶ根市総合教育会議に御出席をいただきましてありがとうございます。

また、教育委員の皆さんには、教育委員会を通して駒ヶ根市の子どもたちのために、その都度、適切な御示唆をいただいております。改めて感謝申し上げたいと思っています。

本年度に入りまして教育委員会の中でも大きな事故等もなく推移をしてきているのかなと思っております。一番は何といたっても子どもたちの学力のこと、前々から教育委員の皆さんともお話をさせていただいているところがございますけれども、市としてもできる限り教員等の市単独の専科教員、また外国語の指導助手ALTの配置、それぞれ支援が必要な人たちのための人員配置等をさせていただいているところがございます。教育委員会から報告を受けるところでは、標準学力の平均が80%以上という目標を毎年達成をしていただいているということで、改めて感謝申し上げたいと思います。

また、今それぞれの地域の皆さんが学校に対して非常に関心が高まってきています。コミュニティ・スクールを発足させていただきまして、中沢、東伊那という地区を中心に多くの皆さんが学校に関心を持っていただいているということでうれしく思っております。赤穂小学校でも準備に入らせていただいているということですので、ぜひ全市的に広めていただけて多くの皆さんに関心を持っていただく、また学校も開かれた学校にしていくことが重要と思っておりますのでよろしくお願いたします。

それから、学校の施設整備関係であります。今まで順次進めてまいりまして、学校の耐震化は、できるところはほとんど終わったんですけれども、本年度は、木造で一部残っております東中学校の特別教室棟です。過日、教育委員の皆さんにも御出席をいただきまして起工式ができて、ようやく改築に向けて取り組むことができました。

また、体育館棟のつり天井の問題ですが、本年度は赤穂南小学校の改修を実施します。他にも中沢小学校体育館の床の張り替えや東小学校のエレベーターの設置、東中学校体育館の照明等をさせていただきますので、だいぶ進んできております。

次に、教育大綱に基づいた項目がありますけれども、特に子育ての関係も昨年から積極的に取り組みをさせていただいてきておりまして、市長部局としても婚活を今実施しております。昨年度11組の方が成婚に至ったということでもありますので、少しずつですが効果が上がってきていると思いますし、また、職員のほうからも婚活という言葉がかたいのではないかなというようなこともありまして、イベントの方法についても考えながら取り組みを進めていきたいと思っています。

文化面では、エルシシステムもようやく動き出しましたので、また違う意味での文化振興ができていると思っています。

また、昨日は、磐田市の50周年記念式典に参加させていただくと同時に、サムライナッツの

皆さんに靈驗早太郎を公演していただきまして、また子どもたち向けの新しいバージョンができたのかなと思います。駒ヶ根市の文化といいますか、磐田市の教育委員さんを含めて、皆さん非常に感動されておりまして、「これ本当に素人の皆さんがやっているんですか。」と、市長さんからは「ぜひ磐田市でもやりたい。」というようなお話がありましたので、非常に評価していただいたと思っています。それぞれの市民の皆さんに御礼を申し上げたいと思っています。

本日は、これから3カ年の実施計画に入りますので、それに向けて教育委員の皆さんと意見交換したいと思っていますのでどうぞよろしく願いいたします。

○小平教育次長 それでは、続きまして北原委員長さんからごあいさつをお願いします。

○北原教育委員長 皆さん、こんにちは。

本日は、第2回目の総合教育会議ということで、どうぞよろしく願いいたします。

子どもたちは夏休みに入りまして、子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきて、子どもたちが夏休みに入りますと、何かそんな活気が出るのかなと感じております。

教育委員会では、ことし5月からですかね、県の原山教育長が全県内の小中学校を訪問されるということで、駒ヶ根市にもおいでいただきましたし、その後に教育長との懇談もありまして、長野での懇談会にも参加させていただいておりますが、その中で県全体として捉えましたときにさまざまな問題が出てきております。駒ヶ根市としてどうなのかというのは、まだこれからのことだと思いますけれども、教科の問題、英語や道徳の教科の問題、ICTの整備、中学校の部活動指導者、高校の学びの改革など、さまざまな問題が出てくるところでございまして、それらも踏まえた上で、市長さんと意見交換させていただく中で同じ方向を向いて子どもたちにとってより良い環境、教育環境を創っていかれたらと考えておりますので、今回もよろしく願いいたします。

○小平教育次長 それでは、次第に沿って説明をさせていただきます。

第4次総合計画に基づく教育大綱に沿って現在事業を進めているところでありますが、本日は、向こう3年間の事業実施計画であります3カ年実施計画で計画すべき事業などを議題として意見交換をさせていただきたいと思います。教育全般にわたりましての意見交換については時間の後半のほうでとらせていただきますので、最初は、この実施計画について意見交換をお願いしたいと思います。3カ年実施計画の事業計画であります、3カ年実施計画の策定に当たりまして検討が必要と思われる項目についてまとめてありますので参考としていただきたいと思います。

その他、大綱に計画されました教育関係施設、ハード事業の整備状況につきましては、特に28・29年度の整備状況について整理をしてあります。学校関係、経塚保育園や子育て支援センター、十二天の森などの主要な事業が実施されているところであります。

最初に、学校ICTという項目がございまして、各校、パイロットで県内何校か進めているところもございまして、今日的な課題ということもあり、最初のテーマとさせていただければと思います。当市の状況、あるいは近隣市町村の取り組み状況などをまずは報告をさせていただきまして、それを参考に意見交換をお願いできればと思いますのでよろしく願いいたします。

○北澤子ども課長 ICTの近隣市町村の状況及び当市の状況について説明をさせていただきます。

まずは、箕輪町の事例を報告したいと思います。箕輪町につきましては、7月4日に上伊那市町村教育委員会連絡協議会がございまして、この総会と合わせて研修を実施した経過もあります。

内容につきましては、平成26年～28年にかけてICT支援員の配置や先生方のミニ研修、先生方の情報共有のためのICT通信、実践の蓄積等の状況が記載されております。先生方の授業に対する取り組みや意識の向上が重要なものとなっている状況であります。

続きましては、箕輪町の全体的な取り組みが記載されております。5ページをご覧ください。

事業としましては、県のパイロット校の指定を受けまして実施したものでございます。

右側の2の事業内容、(1)のところでございますが、箕輪町のICT整備としての機器の対応であります。箕輪中学校において、775人規模のものでありますが、iPad140台、大型テレビを各教室、またデジタル教科書を配備しております。

また、その下ですが、町内の小学校5校について担任用のiPad77台、電子黒板、デジタル教科書等が設置されている状況であります。

その他の特徴的な取り組みについて(2)以降に記載があります。中学校におけるICT支援員を配置、また2番目として町のICT教育推進委員会の設置をしております。③として10月28日に第1回の箕輪町のICTセミナーを実施しております。④番で情報通信をされております。また、他県への先進地の視察等も実施しております。

6ページをごらんください。

(4)のICT推進委員会の設置ということで記載があります。

(5)については第1回の箕輪町のICTセミナーの開催。

(6)については、先ほど説明いたしましたICT通信の発行と啓発ということで教職員間の情報の共有を図っている状況であります。

7ページをごらんください。

3の結果ということで(1)から(3)まで記載があります。(1)につきましては、ICT機器活用率が向上したということであります。また、(2)については、生徒の学習への取り組み、視覚的な資料を基に生徒間同士で話し合いが行われ、コミュニケーション力の向上も図られているということであります。(3)につきましては教師の意識の変化ということで、今までの自分の授業の見直しにもつながり、授業づくりに対する教師の意識の変化があらわれているということでございます。以上が箕輪町の状況でございます。

9ページ10ページにつきましては先進地の事例ということで、喬木村での小規模校の取り組みが記載されております。小学校2校、中学校1校で、電子黒板、学校間連携遠隔カメラ等を利用した遠距離同士の合同授業の取り組みが行われております。また、ふるさと納税や多様な財源を確保し、中学校は1人1台、小学校は2人に1台整備が進んでいる状況であります。

以上、箕輪町と喬木村の先進地の状況について記載をさせていただきました。

当市の状況ですが、資料はございませんが、パソコンが今のところ537台で、5.3人に1台という形で配置がされております。学校のICT整備につきましては、平成22年度にパソコン教室のパソコンを295台導入しまして、それ以降、電子黒板を各校1台配備しております。また、校内のLAN環境についても整備をしている状況であります。平成26年～27年度にかけて、小学校の読み書き支援事業でタブレットパソコンを73台、地域未来塾事業として中学校に34台を導入する等、順次整備は進めてきている状態ですが、これから、また3カ年等で検討していただいて順次整備をしていきたいと考えています。以上です。

○小平教育次長 それでは、委員長さんお願いします。

○北原教育委員長 それでは、今のICTに関してお願いいたします。

先週、県の教育長との懇談の中で、やはりICTは広めていきたいんだというお話を教育長がされておりました。現在のところ、箕輪町はモデル校としてやられておりますのでまた別なのかと思えますけれども、市町村によってかなりのばらつきがあって、全体に行き渡らせるにはまだ時間がかかるというお話でしたけれども、県としても検討会を立ち上げて検討していくというお話だったかと思えます。やはり授業の中にICTということ浸透させていながら授業の改革なんかもしていくというお話もありましたが、駒ヶ根市として今後3カ年ですぐに導入になるのかどうかかわからないんですけれども、その辺を含めて市長のお考えをよろしくお願いします。

○杉本市長 ICTを積極的に取り組んでいる市町村も聞いていますし、過日、どこへでも投影するような黒板、北欧では、すでに100%入っているっていうようなことを聞いてきて、ICTの機器って日々ものすごく進化していて、その進化にどう追いついていくかが大変かなと思っ見てきました。

それから、ICTをする場合に、今までの教材がガラッと変わりますよね、どういう教材を使ってどういう授業をするかということが変わるので、一つは黒板みたいにみんなに説明するところをICTを使って端末で映しながら映像を入れたりしていくっていう方法、それから、iPadみたいなのをみんなに持たせてノートのかわりに使わせるやり方など色々あると思えます。それに対して、今の教員の皆さんがどこまでそういうことをできてきているのかということもあるので、ハードのみでやってもなかなかうまくいかないですし、県全体の取り組みがどうなっているかも把握できていないので、その辺りをまた情報収集させていただいて、今の時代に合ったものを計画的にある程度先を見越した方法を想定して行っていかなければと思っていますし、事務局で情報収集してもらって、教育委員会の中でぜひ議論していただきたいと思っいます。将来的にどういことを教育委員会としてやっていくのかをまずまとめていただいて、それから順次進めていきたいと思っいます。

○北原教育委員長 箕輪の中学校、小学校でいろんな授業を見せていただいて、子どもたちがiPadでクイズみたいにできるものもありましたが、そういう使い方はどうなのかなという疑問がありまして、ゲームになってしまうのではないかと懸念もあつたのですけれども、美術の先生が、自分が描く絵を映したのがパッとスクリーンに出るっていう授業をされておりました。今までだと、理科とか家庭科の授業の調理実習などは、みんなで前に集まってみたりしましたが、そういう時間が省けるというようなことは効果的かなと感じました。

○北原教育委員長 ICTに関して御意見、御質問等ありますでしょうか。

○福澤委員 ああいう機器を使うと、視野的にパッと見てわかるということはあるけれど、その視野的に出せるもとはどういふうになっているかという、原理原則的に、そういう表はどういふうにつくられたとか、何を見せたくてそういう表になったのかというところまで考えられるようにしないと、機械に使われて終わってしまうような気がします。だから、そこら辺まで踏み込んで考えて使っていかないと、ICTっていうのはなかなか難しいのではないかなと思っいます。

○小木曾教育長 今急に始まつたことではなくて、視聴覚器具の活用というのはずっと昔から続いているのですが、やっぱりそういったものってツールでしかないんですね。だから、どういふうにならそれを使うかっていうことが大事だし、今わざわざアクティブ・ラーニングって言いなが

ら、主体的な追求的なっていうことを言いながら、映像を見させられるというのは先生が話すのと全く同じなんです。だから本当に会話の問題だろうと思います。だから、駒ヶ根市の場合も、読み書き支援のために73台タブレット端末を入れているとか、放課後学習支援のために中学校に34台入れている、こういうことのために使うということを経験して入れていくことは実は大事なことだと思います。

○杉本市長 今の教育長さんの話も参考にさせていただき議論していただくようお願いします。

○北原教育委員長 ありがとうございます。ICTのこと、他にどうでしょうか。

○北原教育委員長 ないようですので別の件に移ってもよろしいですか。

○小平教育次長 はい。

○北原教育委員長 では、福澤委員さんお願いします。

○福澤委員 コミュニティ・スクールのことですが、東伊那で今年から始まり、まだ少ししか経っていないのですが、表みたいにまとめると、以前から行っていたことを継続している感じがしています。行事や活動の支援、学習の支援等、結構項目があって、効果が出ているかなという感じを受けています。先生たちになるべく負担がかからない方法で、関心を持たれるような学校にするためのツールにしていくっていうことが一番の目的だと思います。新しいことを急にやってもなかなかできませんので、今まで行ってきたこととつなぎ合わせてやっていくっていうことが大事じゃないかと思います。形としてはいい形ができてきたのではないかと思います。

○杉本市長 今は核家族化だとか、会社に帰属してしまっているとか、地域で子どもを育てるっていうような力が弱くなってきていると思います。やはり子どもたちを育てるのは、家庭だけじゃなくて、地域で育てる、みんなで育てないといけないと私は思います。そういう意味では、学校は、子どもが通っていることもあり、みんなが同じ共通の意識で議論できる場所だと思います。ですので、学校の子どもたちを通してまちづくりをしていくことが重要だと思います。コミュニティ・スクール等を通じてみんなが学校に興味を持つと同時に、地域づくりにも関心を持ってもらえるような、そんな方向に行ければ非常にいいのかなと思っていますのでよろしくお願ひしたいと思います。

○北原教育委員長 コミュニティ・スクールに関して他に質問等ありますか。

○北原教育委員長 ないようですので下島代理から別の件についてお願いします。

○下島教育委員長職務代理者 竜東の給食センターが老朽化していることについて、子どもの食に係わる部分でありますので、この3カ年に向けて優先順位はあるかと思いますが、重きを置いてぜひ進めていただきたいと思います。

○杉本市長 補助制度や3カ年の財政状況を見て、また検討させていただきます。

○北原教育委員長 他に給食センターの件でありますでしょうか。ないようですので、唐澤委員さんお願いします。

○唐澤委員 10年後に長野県で国体を開催するということが決まりましたが、駒ヶ根ではどの競技を行うのか、また、それについてどのような施設を整備しなきゃいけないのかをもう決めていかなくてはならないと思うのですが、どのような方向で進めていかれるのでしょうか。

○杉本市長 今、県の方で国体に向けた競技施設などについてどのように進めていくかを検討しているようですが、県の考え方はいつごろ決まる予定でしょうか。

○小平教育次長 年内にはということは言われています。

○杉本市長 県の方で、案を今年中に示してくれるみたいですので、それを見て、駒ヶ根市として今後何をやるかということを検討していきたいと思っています。いずれにしても、体育協会等の皆さんに御意見聞いたりする中で一定の方向性を出していけたらと思っています。

○唐澤委員 建物はお金がかかりますし、芝のフィールドをつくれば、サッカーに使えたりとか、ラグビーだったりとか、周りに陸上のトラックもつくっていただければなおさらいいですし、スタンドも必要ですし、周辺の駐車場も考えないとなど、すごく大変なことだと思いますので、早目に検討していただきたいと思います。

○北原教育委員長 国体の種目が何になるにせよ、駒ヶ根市では施設をつくらないといけないということですか。

○杉本市長 今は、サッカーが盛んなのでサッカーの皆さんからサッカーのできるグラウンドがと言われますが、サッカーは天然芝で、天然芝は、頻繁に使っているとだめなんですよ。毎回使っていると、張りかえをするような場所をつくっておかないといけないので、そこまでできるのかと。そうすると、人工芝でいろいろに使えるようなもので雨が降ってもできるようなドームみたいなものなら色々に活用できるかなと思っています。また、全ての施設を全て市町村がつくる時代ではないので、もう上伊那の中にあるなら、伊那市に陸上競技場があるので、お互いに市がね、市民の皆さんも気楽に使えるような、協定みたいなものを結ぶことはこれからのやり方だと思います。すべて自分たちが用意する時代ではなくて、伊南や上伊那でお互いに利用できる場所は利用していかないと、維持管理ができません。プールもそれぞれがつくる時代じゃないですね。ですから、人口減少社会と言われている中で、次から次へ新しいものをつくっていったらそれこそ財政が破綻してしまうので、考え方を少し変えていく時代に来ているんじゃないですかね。だから、みんなが使えるようなものはつくっていく時代だと思います。いずれにしてもスポーツは重要なので、人工芝のグラウンドが1つは必要かなとは思っています。

○北原教育委員長 他に表題の中で御質問があればお願いします。

○唐澤委員 この間、伊南の教育委員の皆さんと十二天の森を歩いたのですが、その中でもっと手を入れて明るくした方がいいという声を幾つか聞いたので、財政的なこともあると思いますが、子どもたちが気楽に行くには、もう少し明るくした方が良くと思います。

○杉本市長 私は、十二天の森を子どもの森という位置づけにして整備していきたいなと思っていますが、色々な思いの方がおいでになりますので、意見聞きながらになります。大方は手を入れながら整備していくという方向で舵を切らしてもらいましたが、その自然を残さなきゃいけないという思いの方もいらっしゃいますので御意見聞く中で整備したいと思っています。

○北原教育委員長 他にございますか。

○小平教育次長 教育全般でも御質問があれば。

○福澤委員 健康長寿のまちを目指していると思うのですが、これについては特に丁寧にやっていったらどうかということで、子ども、中学生くらいの生徒たちに、例えば病気の恐ろしさなどを勉強させて、それで家庭に帰って話し合いをしてもらうということを少しやったんです。子どもに言われると、大人もある程度感じる場所があって、癌だとか、たばこだとか、健康や食育など、そういうことを少し考えて、教育の中に少し取り組めば効果があるんじゃないかなと感じました。

○**小木曾教育長** 例えば社会全体、大人たちも含めてということで子どもたちに位置づけてというところまで行っていないですね。子どもたち自身がどうなるかという観点でしかまだできていないような気がするので、今のお話は確かにおもしろいですね。

○**福澤委員** 例えば、子どもたちに実際のがんの映像やたばこを吸った肺の写真を見せたりすると、かなりショックを受けるらしいです。それは、大人になってもたばこ吸わなくなる傾向になるということでした。たばこについては、もう「百害あって一利なし」ということは科学的にも言われていますので、その頃からそういう感じ方を見せておけば、大人になっても、5年先10年先になっても恐らく効果が出るのではないかということでは言っていました。

○**杉本市長** 何でも学校でと言っても、学校の先生も手いっぱいなので、もう少し地域の中にこの学校のことを入れていかなきゃいけないのかなと思います。子どもたちと地域がもっと密着していくようなことをしていければ、地域の中でそういうことを言えるかもしれないと思います。

○**中坪保健センター所長** 中学生は、命の大切さということで、性教育に関しては大体授業を入れていただいていますので、それに合わせて禁煙とか、そういうことを兼ね合わせて話をするのは一つの工夫だと思います。

○**福澤委員** やはり専門の先生、病院の先生が来て本物を見せていました。

○**杉本市長** それはいいですね。

○**福澤委員** それは、かなりの説得力があって、ショックを受けていたようです。だから、そういう連携がとればいいのではないかと思います。

○**中坪保健センター所長** やはり授業の中になかなか性教育の時間を持っていただくことでさえ結構大変な部分もあって、プラスアルファで入れていただくのは大変だと思います。子どもの健康を考える会という会があり、学校の先生方とも話し合いの場がありますのでそこで検討させていただきます。

○**北原教育委員長** 他にはよろしいですか。こちらは以上です。

○**小平教育次長** 3カ年の実施計画の策定につきましては、これからさまざまな御意見をお聞きしながら事務局の方で検討、調整してまいりたいと思っています。それでは、以上をもちまして第2回の総合教育会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

午後1時48分 閉会